

# 「みんなが住みたいまちづくり」 の実現に向けて行動します

皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年の世相を1字で表すと「安」となりました。安全保障関連法に国民の関心が高まったことや、世界で頻発するテロの不安、安倍首相の地球儀外交の成果などが理由とされています。

昨年を振り返りますと、「戦後70年」という節目の年でもあり、平和とは何か、人の命の重みとは何かと、深く考えさせられる一年でありました。あの悲惨な戦争の事実を風化させず、後世に受け継いでいかなければならないと強く感じております。中曽根康弘元首相は「我々は過去～現在～未来という歴史の連続性において、日本の将来をどう捉え、国民・国家の在り方と世界との関係をどう考えるべきなのか、その進むべき進路とともに日本の姿を思い描いてゆかなければならない」と言っておられます。次世代に繋ぐ私たちの責任を感じます。

また9月には鬼怒川の堤防決壊など、東日本に大規模な水害をもたらした大雨「関東・東北豪雨」がありました。本市は地形的に利根川・渡良瀬川という大河に挟まれた低地域にあることから、根幹的な治水対策に加えて、日常的に起こり得る都市災害（浸水など）への対策を講じることが求められます。指定避難場所の確保や避難経路の整備を進め、火災・地震・水害など想定されるさまざまな災害に強いまちづくりの為、「行動こそ原点」を忘れずに今年も働き続けます。

一方で明るい話題も多く、ラグビー・ワールドカップにおける日本勢の躍進や、キック前の五郎丸歩選手のポーズ、北陸新幹線の延伸開業などが印象に残ります。

本市におきましては「つつじ映像学習館」がオープンし、世界に誇れるつつじが一年中3D映像で楽しめるようになりました。また、「群馬県立多々良沼公園」もようやく完成、さらに多々良沼と城沼周辺のウォーキングコースがそれぞれ「新日本歩く道紀行百選」に選ばれ、本市の観光資源の仲間入りとなりました。

そして昨年は「地方創生」元年でもありました。「人口ビジョン」や、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定や、今後の人口減少への対応や地域経済活性化のために、みんなが本市に住んで良かった、住みたいまちづくり実現に向けて取り組みました。

皆様の期待を胸に議員3期目・副議長職2年目に入り「もっと働け」「もっと頑張れ」との声が聞こえてきます。昨年6月議会から一問一答方式も取り入れられた一般質問進行役の一員になり、質問はできませんが後援会員、支援者の皆様のお力添えをいただきながら、皆様の声を市政に届け、人に優しく「みんなが住みたいまちづくり」実現に向けて、活力がありみんなが住みたくなる、誇れるようなまちづくりのため、今年も邁進していきます。

今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



# 市政と地域の元気に挑戦



新町陸上自衛隊視察



つつじ映像学習館  
オープニングテープカットと挨拶



トマト農家視察



長澤理玄碑建立挨拶



台湾同郷会館林産業視察団歓迎



子ども会ドッジボール大会 挨拶



まち研散策ガイド配布

## 多田善洋の

今までに24回一般質問させて頂いた内容は  
下記ホームページにてご確認ください。

<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp>

※現在一般質問進行役の為、質問は致しておりません。

## 今年はさる年



申は、「悪運が去る」「病が去る」  
さらには、「幸運を運ぶ」と言われています。  
皆様にとりまして穏やかな、幸多い年で  
ありますようにご祈念申し上げます。